

平成 28 年度 事業計画

1. 平成 28 年度業務運営にあたって

平成 28 年度は当法人にとって正念場の年となります。県健康福祉部委託事業は核となる工賃向上事業をはじめ事業予算が 27 年度に比べ約 60%と大幅に減少することに伴い、職員を減員し対応せざるを得ない状況となりました。一方、県経済産業部委託事業は、障害者雇用企業支援事業の受託が決定し、予算規模は、ほぼ 27 年度水準をキープできることになりました。

こうした状況を踏まえ、既に受託が決定した障害者働く幸せ創出センター運営事業、就労移行促進事業をはじめ、今後予定される農福連携事業、授産品ブランド化推進事業を受託し、当法人の使命である「福祉と企業、地域をつなぐ役割」を果たしていきます。

新たに静岡市、浜松市から工賃向上にかかる委託事業を受けることになりました。これは、当法人のこれまでの事業実績が評価されたものであり、きちんと成果を出し継続的な委託につなげていきます。合わせて、両市も含めた市町からの優先調達の共同受注窓口の実績を上げていきます。

本年 2 月に静岡県工賃向上計画（平成 27 年度～29 年度）が出され、月額目標平均工賃額を 3 万円とし、事業所の目標伸び率を対前年 5%増としています。当法人としても、この実現に向け事業所の支援を行ないます。

27 年度の障がい者の就労支援実績は、357 名の実雇用を実現し、目標の 235 名を大きく上回ることができました。28 年度も引き続き実雇用の確保に取り組むとともに、精神・発達など就労困難者のサポートに重点を置き、課題となっている就労後の定着支援を企業、関係機関と連携して実施いたします。

当法人の会員数も、障害福祉関係、企業関係を中心に 330 を超えました。今後の経営環境は厳しさを増しますが、支援していただく会員に報いるために、情報提供をはじめ会員同士の連携や研修、イベント等への参加を進め、会員とのつながりを強化していきます。

2. 総会、理事会等日程

1) 総会

平成 28 年 6 月 22 日（水）14：00～16：00

総会終了後、記念講演会（16：00～17：30）、懇親会（18：00～）を開催

記念講演 講師 一般社団法人モリス 代表理事 清水 光弘氏

演題 「モリスの原点」

～知ろうとする心がヒトを育て、ヒトが人を育てる～

2) 理事会

第 1 回 平成 28 年 5 月 24 日（火）10：00～12：00

第 2 回 平成 28 年 6 月 22 日（水）総会時開催

第 3 回 平成 28 年 8 月 18 日（木）15：00～17：00

第 4 回 平成 28 年 10 月 21 日（金）10：00～12：00

第 5 回 平成 29 年 1 月 19 日（木）15：00～17：00

第 6 回 平成 29 年 3 月 16 日（木）10：00～12：00

3) 監事会

平成 28 年 5 月 17 日 (火) 10 : 30 ~ 12 : 00 決算監査、業務監査

3. 平成 28 年度組織・人員体制

1) 組織

①2 部 4 課とする。 別添組織図

総務部 (総務課、就労課)

支援部 (企画課、支援課)

②職位の適用については、現行通りとする。

ア) センター 組織単位 (課) の長 1 名を課長とする。

イ) 地区 東部、中部、西部各地区センターにセンター長を置く。

ウ) 障害者雇用企業支援事業

- ・ 障害者雇用推進統括コーディネーター 1 名 センター配置
- ・ 障害者雇用推進コーディネーター 17 名 (東部 6 名、中部 5 名、西部 6 名)

2) 人員

組織	27 年度	28 年度	差異
合計	44 人 (10 人)	36 人 (9 人)	-8 人 (-1 人)
事務局長	1 人	1 人	0 人
総務部	24 人 (3 人)	22 人 (2 人)	-2 人 (-1 人)
総務部長 注 1	1 人	0 人 (事務局長兼務)	-1 人
総務課	3 人 (2 人)	2 人 (1 人)	-1 人 (-1 人)
就労課 注 2	20 人 (1 人)	20 人 (1 人)	0 人 (0 人)
支援部	19 人 (7 人)	13 人 (7 人)	-6 人 (0 人)
支援部長	1 人	1 人	0 人
企画課 注 3	5 人 (1 人)	2 人 (1 人)	-3 人 (0 人)
支援課 注 4	13 人 (6 人)	10 人 (6 人)	-3 人 (0 人)

() はパート職員

注 1 事務局長が総務部長・就労課課長を兼務する。

注 2 就労課 28 年度は、コーディネーター (統括含む) 18 名、就労相談員 1 名

注 3 企画課 3 名減は、27 年度緊急雇用 3 事業終了に伴うもの

注 4 支援課 3 名減は、各地区 2 名体制から 1 名体制によるもの

パート 6 名は、テルベ運営の要員

4. 委託事業

1) 県委託事業（健康福祉部）＊全て公募

28年度事業費計 35,900 千円（予定額） （前年度 88,847 千円）

①障害者働く幸せ創出センター運営事業 事業費 19,500 千円 受託確定

ア) 企業と地域の連携の創出

- ・授産製品購入、業務受発注に向けた企業への提案
- ・事業所と企業の協働イベントの開催
- ・企業内に授産製品の販売スペースを設置・管理
- ・企業と事業所の連携コーディネートにより、企業等と事業所との直接連携を推進

イ) 常設店舗（とも沼津店、静岡店）の運営・マネジメント

- ・常設店における授産製品の販売、喫茶・軽食サービス提供の支援
- ・消費者ニーズ把握、マーケティング戦略強化
- ・常設店舗の運営及びマネジメントによる事業所や授産製品の広報・情報発信
- ・店舗売上分析結果を分析し、事業所へ還元

ウ) 共同受注窓口に関する業務

- ・受発注対応
- ・官公庁や企業等に対し、発注拡大に向けた提案
- ・事業所の業務や物品に関する情報発信
- ・官公庁や企業等からの大量発注を事業所が共同処理（共同製造・共同作業）する体制の構築

エ) 障がいのある人の「働くこと」に関する相談体制の確立

- ・事業所、企業、障害のある人、家族等からの働くことに関する総合相談の実施

オ) 創出センター、地域拠点及び常設店舗の管理

- ・授産製品等展示コーナー、情報コーナーの運営
- ・交流イベントスペース、会議研修スペースの運営

カ) その他の業務

- ・その他施設管理等

②就労移行促進事業 新規事業 事業費 3,600 千円 受託確定

障害者働く幸せ創出事業とのセット事業

ア) 精神障害・発達障害に特化した事業所向け就労移行支援研修

- ・研修会や視察の運営と実施

イ) 事業期間 平成 28 年 4 月 21 日～平成 29 年 3 月 31 日

③農福連携による工賃向上支援事業 新規事業 事業費 6,000 千円

ア) 農業分野における職域拡大のため、技術指導、進出支援、マルシェ開催等

④しずおか授産品ブランド化推進事業 新規事業 事業費 6,800 千円

ア) 授産製品の販路開拓支援として、マーケティング計画立案、製品改良、PR支援

2) 県委託事業（経済産業部）

28年度事業費 74,184千円 確定額（前年度 74,448千円）

①障害者雇用企業支援事業 事業費 70,167千円（前年度 70,431千円） 受託確定

ア) 事業目的

「障害者雇用推進コーディネーター」を県内8福祉圏域に配置し、公共職業安定所、障害者就業・生活支援センター、行政等の支援機関と連携し、障害者のための求人開拓、企業に対する障害のある人の能力に適した職務の選定等についての助言、求人開拓情報のマッチングに向けた支援等を一元化して実施する。同時に「静岡県障害者就労応援団」を活用した障害者雇用促進セミナー及び障害者雇用企業見学会を開催し、県内民間企業における障害者雇用の促進を図る。

イ) 事業期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

ウ) 人員体制

- ・障害者雇用推進統括コーディネーター1名
- ・障害者雇用推進コーディネーター17名

エ) 主たる業務内容

- ・求人開拓を目的とした企業訪問
- ・求人開拓情報の活用と実雇用に向けたマッチング支援
- ・公共職業安定所と連携し、法定雇用率対象企業に対する支援
- ・企業の抱える課題に対し、能力に応じた職務選定、受け入れ態勢の整備等について支援機関と連携して支援
- ・就職した障害者の定着支援
- ・就労応援団登録制度の周知等
- ・障害者雇用促進セミナーの開催
- ・障害者雇用企業見学会の開催
- ・障害者雇用ガイドブックの作成
- ・特例子会社制度の周知と設立支援

オ) 事業指標

- ・新規雇用数 235人以上
- ・雇用促進セミナーの開催 6回（東部・中部・西部各2回）
- ・企業見学会の開催 3回（東部・中部・西部各1回）

②障害者就労相談員設置事業 事業費 4,017千円（前年実績 4,017千円）

ア) 事業概要

相談員1名を配置し、障害者働く幸せ創出センターを拠点に障害者就労に関する総合相談窓口を設置する。

イ) 事業期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

ウ) 業務内容

- ・福祉事業所、企業、障害者及びその家族からの相談対応
- ・障害者就業・生活支援センター等関係機関との連携による支援
- ・雇用推進コーディネーターとの連携による支援

3) 静岡市委託事業

①障害者就労支援スタッフスキルアップセミナー事業 **新規事業** 委託費 1,689 千円

事業期間 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日

ア) 工賃向上のための障がい者の仕事ステップアッププラン (3 ヶ年事業) の初年度事業

イ) 事業所の課題、ニーズ調査に基づくセミナーの企画

ウ) セミナーの開催 (6 回) と事後アンケートの実施

②テルベ事業 補助金事業 事業費 4,647 千円 (前年 4,647 千円)

ア) イトヨーカドー静岡店内の福祉ショップテルベの運営、パート 6 名で対応

イ) 28 年度売上目標 3,500 千円 (27 年度売上 3,421 千円)

4) 浜松市委託事業

①浜松市授産製品等アドバイス事業 **新規事業** 委託費 896 千円

事業期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日

ア) アドバイス参画企業の発掘

イ) 研修の企画、実施

ウ) 企業担当者と福祉事業担当者との情報交換や個別指導

5. 自主事業

①会員増強

27 年度に引き続き会員増強運動を実施し、基盤強化と自主財源の確保に努める。

合わせて既存会員へのサービス体制等フォローを強化し、退会防止に努める。

(会員数)

28 年度目標 年度末 380 会員を達成する。純増目標 46

27 年度実績 会員数 334 正会員 231 協力会員 103

内訳 非営利 194

企業 108

個人 32

②研修事業（有料研修）

28年度 収入予定額 500千円 （27年度実績 300千円）

研修情報部会を中心に、自主研修を企画、運営する。

特に、前年度好評であった加算研修、助成金研修、個別支援研修など福祉事業所向け研修のほか、就労支援、工賃向上、人材育成など実践的な研修を行う。参加費は、前年度と同様 2,000円とする。

③物販事業

ア) インターネット通販店舗 「ココのみ」の継続

27年2月2日にオープンした福祉雑貨通販オンライン店「ココのみ」を継続する。売上増加に向け、情報発信の強化、ウェブカタログの活用、とも2店舗との連携を行う。

a) 売上目標 年間 50万円 27年度実績 160千円

b) 課題

- ・サイト訪問客数の増加と訪問客数の購買率の向上
- ・魅力ある商品の選定と販促活動の強化

イ) ふじっぴー関連グッズの販売

県はじめ常設店からの注文に応じられるよう受注生産体制を整備する。また、効率性も重視し、販売店の絞り込みを行う。27年度実績 1,489千円

ウ) 置き菓子の推進

企業向けの置き菓子販売を28年2月より会員企業の協力を得て開始し、好評を得ている。本年度は、対象企業拡大に向けた営業を強化し、授産製品の販売促進と工賃向上を目指す。

④部会運営

事業費が大幅に減額される中、部会運営は基本的に自主財源で行うことになる。したがって、最低限必要な部会のみを残し、その他の部会は、自主運営とする。

(28年度予定する部会)

- ・経営総務部会 当法人のありかたを含めた事業全体の調整、フォロー
- ・就労支援部会 コーディネーター事業等就労支援事業のフォロー
- ・研修情報部会 自主研修事業等の企画・運営

⑤授産製品コンクール

ア) 実施時期 平成28年10月 表彰式 28年11月12日 静岡県障害者芸術祭で実施。

回を重ねるごとに、コンクールの目的である授産製品の品質向上が着実になされている。

特に今年度は県の「しずおか授産品ブランド化推進事業」と連携し、クォリティの向上を目指す。

運営については実行委員会を設置し、工夫をこらし沢山の福祉事業所が参加するよう心がける。

⑥新春講演会

ア) 実施時期 平成 29 年 1 月 24 日 (火) 会場 グランシップ 6 階交流ホール

イ) 講師 (有) 真京精機 専務取締役 武田 浩之氏

講演会とセットし授産製品の販売コーナー等を設け、多くの来場者に対し、福祉事業所の紹介や授産製品の販売活動を行う。

⑦広報活動

会員、福祉事業所、行政、企業、地域等に向けて積極的に情報発信を行い、オールしずおかの認知度を高める。

ア) かわら版の発行

年 4 回発行する。

イ) ホームページ、メルマガ、ブログ、F B の活用

- ・ホームページ機能を強化しアクセス数を増やす。
- ・メルマガ、ブログ、F B を活用し、イベント案内などタイムリーに発信する

⑧諸会議

ア) 全体会議

- ・月 1 回開催

イ) 支援部・総務部会議

- ・全体会議に合わせ月 1 回開催

ウ) 雇用推進コーディネーター会議

- ・全体会議に合わせ月 1 回開催

エ) センタースタッフ会議

- ・原則毎週月曜日開催